

2022年度（令和4年度）あある

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年3月1日

事業所名 あある

チェック項目		はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1			利用人数によって席の配置を考え、パーソナルスペースを確保できるように工夫していきます。
	2 職員の配置数は適切である	2	3			活動内容や職員の立ち位置なども打合せをして、利用人数が多い時の支援の仕方も見直しながら取り組んでいく。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	4			外階段があるので、昇り降りする時は万が一を考えて1人ずつ使用するように職員が見守りながら行っている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5			毎日振り返りをし、話し合うことで共有できた。	日々振り返りを行い、その日の気になったところを共有し、改善する方法を考え翌日に活かせるようにしている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1	1		保護者からのアンケートをまとめて、職員全員で共有して課題を洗い出し、改善に努めていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	3	1		職員会議等で公開を周知し、職員も確認できるようにします。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1	2		今後第三者評価を入れるかどうかについても検討していく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1			施設内の研修の他に草加市や足立区の研修にも参加し、職員のスキルアップを目指していく。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	1			利用開始時は勿論、半年に一度の個別支援計画書の更新時にモニタリングを行い、ニーズや課題の見直している。
10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	1		標準化されたアセスメントシートを活用しているが、今後は自社開発アプリによるアセスメントツールの使用も検討している。	
11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5				みんなで話し合い、計画することができた。	作業活動・SSTを週ごとに行うために、会議や打合せで職員全員で計画を立てている。

2022年度（令和4年度）あある

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年3月1日

事業所名 あある

チェック項目		はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5				実際に活動をやってみて、「次はこんな方法でやってみよう」という提案を出し合いながら考えている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1			平日、休日、長期休暇で課題を分けていないが、長期休暇でしか出来ない就労体験や見学を企画して、ああるのコンセプトである就労準備ができるように支援している。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	3			基本は集団活動としているが、その日の状態によって子どもと職員が相談して個別活動で過ごす場合もある。情緒のコントロールを課題としている子は、特に集団活動に参加できるよりも、自分の状態を理解し落ち着いて過ごす方法を知る事を大切に支援している。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			役割分担を表にして役割がはっきりしている。	毎日必ず打合せをして、その日を分担を表に記して分かりやすくしている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5				毎日振り返りを実施している。その日の活動について、良い点と改善すべき点を話し合って引継ぎノートに書いて共有している。子どもについても、良い変化と気になった点を共有して、次回利用時の支援に活かせるようにしている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5				日々の様子は経過記録に記しているが、振り返りの時に話し合って共有している。振り返りで出た意見はノートに記して、全職員が確認できるようになっている。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	1	1		毎月1回会議を行い、それぞれの支援目標に対しての現状を確認して支援方法を見直している。個別支援計画書は半年に1回、保護者様と面談をして目標の見直しをして、職員との策定会議後に更新している。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	2			基本活動を複数組み合わせで行っているが、パート職員はガイドラインを理解していない者もいるので、ガイドラインについての勉強会も行っていきたい。	

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年3月1日

事業所名 あある

	チェック項目	評価			工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
		はい	どちらとも いいない	いいえ		
関係機関 や保護者 との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	2			担当者会議には、管理者・児童発達支援管理責任者が出席している。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	3	2			年間計画や下校時間は、学校との共有ではなく保護者様に教えてもらっている。またはホームページで確認している。変わった様子があった時は担任の先生に電話をして、情報共有させてもらっている。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	1	2	今まで医療的ケアが必要な子どもの受け入れをしていません	受け入れをしていません。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	2	2		利用対象が中高生の就労準備型デイのため、児童発達支援事業所との連携がありません。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	2			同じグループの生活介護や就労支援継続B型へ移行する場合は会議を行い情報共有を行っている。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	1		研修でお話を聞くことはありましたが、今まで専門機関と連携して直接助言をいただくことは無かった。今後機会があれば連携してみたい。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2	2		地域の公園に出かけることはあるが、一緒に何かをするという交流の機会は作れていない。コロナの制限も緩和されてきたので、地域のイベントなどに参加して交流の機会も設けていきたい。
	27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2	3			研修も実施してくれている機関のため、毎年必ず加盟して研修等も利用している。連絡会においては事業所として役員も担当している。今年度は音楽鑑賞会のイベントも企画した。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5				ご利用時には、みらいダイアリーで活動の様子などを写真付きでお知らせしている。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		5			基本は保護者から質問やアドバイスを求められた時に対応している。面談が必要な場合は適宜行っている。今後は保護者様同士の情報共有の機会や、保護者向けの研修会もできたらと考えている。
30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	2			契約時に丁寧に説明している。	

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年3月1日

事業所名 あある

チェック項目		はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	2			面談時には勿論、みらいダイアリーでもやり取りをしている。必要に応じて電話で面談することもある。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	2			今年度は1回、保護者会を開催した。中学生の保護者様から高校生の保護者様へ質問する時間を設けて、情報交換ができた。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5				できる限り問題などがあつた際に速やかに対応できるよう事業所としての態勢は整えているため、引き続き真摯に対応したい。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5				今年度は季節ごとに会報を配布して、活動の様子などをお知らせした。
	35 個人情報に十分注意している	5				個人情報の誓約書等は従業員にも取っており、職務違反となるような行為の無いよう、日頃からルールを設けるなどして取り扱いには注意をしている。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1			一人ひとりに寄り添った支援を考え、伝え方も配慮している。引き続きそれぞれの理解を確認しながら伝えるように努めていく。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	1	3	1		コロナ禍だったのもあり、不特定多数の集まりを避けていた。数年前に地域の方も参加できるお祭りを開催したことがあつたので、今後そのようなイベントができればと考えている。

【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年3月1日

事業所名 あある

チェック項目		はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	4			毎月1回の避難訓練は行っているが、マニュアルの周知徹底はできていない。 まずは全職員の周知を目指して取り組んでいく。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5				年2回以上、消防署に避難訓練の届出をして訓練を行っている。 地震・火事・水害など様々な状況を想定して、月一回の避難訓練を行っている。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5				年1回全職員が参加する虐待防止研修を社内で行っている。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2			現在は身体拘束の必要がある児童がいないが、今後必要な場合が考えられる場合は、保護者様と面談を行い個別支援計画書を更新して同意を得るようにする。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	1	今は対象の方がいません	現在は対象者がいないが、今後アレルギーの対応が必要な場合には、医師の指示書または保護者様からの情報協力のもとに、万全の対応ができるように整えていく。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5				ヒヤリハットを積極的に提出するようにして、会議で共有している。リスクマネジメントの研修を適宜行い、事故防止に努めていく。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。